

# 10月の衛研検査情報

～トピックス～

## 平成27年度 医動物・種類同定検査のまとめ（7～9月）

医動物担当では、人の健康を害し、人に不快感を与える昆虫、ダニ、寄生虫等の試験・調査・研究を行っています。

その中の一つとして、市民、各区福祉保健センター、各市場検査所、事業者などの依頼を受け、昆虫類を中心とした種類同定検査を行っています。昆虫類の種類を同定することによって、発生源、発生時期、人に対する害などが分かるため、効果的な対策を立てることにつながります。

**主な結果** 平成27年7月から9月の種類同定検査件数は、10件でした。内訳は昆虫類9件（チャタテムシ目3件、コウチュウ目3件、ハチ目3件）、その他の節足動物1件（ダニ目1件）でした。

## 遺伝子組換え食品の検査

遺伝子組換え食品は、内閣府にある食品安全委員会で安全性に問題ないと判断され、承認されたものが国内で生産・輸入・販売等が可能になります。遺伝子組換え食品の検査は、承認済みのものについては食品中に遺伝子組換え食品が何%含まれているかを調べる検査（定量検査）を行います。一方、未承認のものについては食品中に遺伝子組換え食品が含まれているかどうかを調べる検査（定性検査）を行います。

平成27年度は、5月と9月に各区福祉保健センターが収去した60検体について、遺伝子組換え食品の定量検査と定性検査を実施しました。

**主な結果** 「遺伝子組換え大豆使用」の表示がない大豆加工品および大豆穀粒20検体について定量検査を行ったところ、違反検体はありませんでした。また、トウモロコシ加工品20検体およびコメ加工品20検体について定性検査を行ったところ、同じく違反検体はありませんでした。

## 衛生研究所WEBページ情報

横浜市衛生研究所WEBページは、感染症情報や保健情報、食品衛生情報、生活環境衛生情報、薬事情報等を提供しています。検査情報月報では、アクセス件数をもとに、どのような情報に関心が寄せられているかを解説しています。



**主な結果** 平成27年9月は、B群レンサ球菌（GBS）感染症、クロストリジウム-ディフィシル感染症、A群溶血性連鎖球菌感染症に関するページのアクセスが多くみられ、総件数は92,749件でした。



詳しくは横浜市衛生研究所ホームページを御覧ください

<http://www.city.yokohama.lg.jp/kenko/eiken/inspection-inf/>



横浜市衛生研究所では、所内で行われた試験検査等の結果に解説を加えて、毎月、「検査情報月報」として報告しています。